

インバウンドに向けた取り組み

変化する経営環境に立ち向かうための取り組みとして、インバウンド対応が求められています。そこで、それらに強みをもつコンサルティング会社(Jarman International KK)の協力を得て、コンサルティング会社スタッフ（外国人）の現場訪問や、外国人が日本で感じていることと英語対応ワンポイントを盛り込んだ文章の現場発信（週1回ペース）等の取り組みを今年度よりスタートさせました。ファーストステップは苦手意識の払拭と位置づけ、「英語は話せない」「外国人は苦手」と感じているスタッフにも、決して難しいことをしようとしているのではなく、日本のお客さまへの対応と同様に「おもてなしの心」で接すればOKと知ってもらふことから始めています。

